安全データシート

作成日　1997年12月22日
改訂日　2014年01月30日

製 品 名：1-Naphthylamine for synthesis

１．化学品及び会社情報

製品番号　：822291
製　品　名　：1-Naphthylamine for synthesis
製品和名　：1-ナフチルアミン 合成用
会　社　名　：メルク株式会社
住　所　：東京都目黒区下目黒1−8−1　アルコタワー
製品取扱部門　：メルクミリポア事業本部
MSDS発行部門　：EQJ部 EHSグループ
電話番号　：03-5434-5267
ＦＡＸ番号　：03-5434-5391
製　造　元　：Merck KGaA

２．危険有害性の要約

GHS 分類
健康に対する有害性
急性毒性（経口）　：　区分4
発がん性　：　区分1A
環境に対する有害性
水生環境有害性（慢性）　：　区分2

シンボル

注意喚起語　危険

危険有害性情報
H302　飲み込むと有害
H350　発がんのおそれ
H411　長期継続的影響により水生生物に毒性

注意書き
P201　使用前に取扱説明書を入手すること。
P273　環境への放出は避けること。
P308+P313　ばく露またはばく露の懸念がある場合は、医師の診断/手当を受けること。

３．組成及び成分情報

単一物・混合物の区別　：　単一物

化学名又は一般名	含有率	化学式	官報公示整理番号（化審法）	官報公示整理番号（安衛法）	ＣＡＳ番号	ＥＣ番号
1-ナフチルアミン	99%	$C_{10}H_9N$	(4)-321	公表	134-32-7	205-138-7

４．応急措置

吸入した場合：
被害者を直ちに暴露した場所から空気の新鮮な場所に移動させる。
不快を生ずる場合は、医師の診察を受ける。

皮膚に付着した場合：
多量の水で洗い流す。

汚染された衣服は直ちに脱ぎ捨てる。
不快を生ずる場合は、医師の診察を受ける。

眼に入った場合：
多量の水で瞼を開けたまま、よく洗浄する。
不快を生ずる場合は、眼科医の診察を受ける。

飲み込んだ場合：
直ちに水(最大コップ2杯)を飲ませる。
活性炭、10%懸濁液を服用させる。
直ちに医師の診察を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：
水，炭酸ガス，泡，粉末

特有の危険有害性：
可燃性物質。蒸気は空気より重く、床に沿って拡散する。
温度上昇により、空気と混合し爆発性混合物を生成する。
火災時に有害ガスを発生する。

副生成物：
窒素ガス

消火を行う者の保護：
適切な保護具を着用し、安全な場所から消火活動を行う。

その他：
霧状水で、発生する蒸気等の拡散を抑制する。
消火の為の放水等により、環境に影響を及ぼす物質が流出しないように適切な措置を行う。

６．漏出時の措置

人体に対する注意事項：
粉塵を吸い込まないように注意する。
漏出物との接触を避ける。
粉塵を巻き上げないように注意する。
適切に換気すること。
作業の際には保護具を着用すること。

環境に対する注意事項：
下水施設に流してはならない。

回収・中和等：
乾燥した状態で収集し、適切な廃棄処理を行う。
漏出箇所はきれいに清掃する。

７．取扱い及び保管上の注意

取扱い：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
吸い込んだり眼や皮膚および衣類に触れないように、適切な保護具（保護眼鏡・保護手袋・保護長靴等）を着用し、出来るだけ風上から作業する。
漏れ、あふれ、飛散しないようにし、みだりに粉塵を発生させない。
容器を転倒させ、落下させ、衝撃を加え、または引きずる等、粗暴な取扱をしない。

保管：
遮光して保管する。

乾燥状態で保管する。
容器は気密性を保つ。
換気のよい場所に保管する。
常温(15～25℃)で保管する。

８．ばく露防止及び保護措置

ばく露防止措置：
設備対策：
密閉化した設備または局所排気を用いる。
取扱い場所の近くに、緊急時に洗眼、身体洗浄を行う設備を設置する。

衛生対策：
眼、皮膚および衣服に触れないようにする。
作業終了後は手洗い、洗顔を充分に行い、作業衣等に付着した場合は着替える。
皮膚保護の為スキンクリームを使用する。
吸入を避ける。

保護具：
呼吸用保護具：
粉塵発生の場合は、呼吸保護具を使用する。

その他：
適切な保護服・保護手袋・保護眼鏡等を着用する。

９．物理的及び化学的性質

形　　状	：	固体
色	：	淡褐色
臭　　い	：	アミン臭
密　　度	：	1.15 g/cm³ (20℃)
ｐＨ	：	7.1 (1 g/l、20℃)
蒸 気 圧	：	0.003 hPa (20℃)
融　　点	：	48～50℃
沸　　点	：	301℃ (1013 hPa)
引 火 点	：	157℃
自然発火点	：	460℃
爆 発 限 界	：	下限　データなし 上限　データなし
オクタノール／水分配係数	：	log Pow：2.25
溶 解 性	：	水に僅かに溶ける。 1.7 g/l (20℃)

１０．安定性及び反応性

反応性：
加熱により、蒸気/空気と爆発性混合物を生成する。

危険有害反応可能性：
激しく反応するおそれ:
酸、強酸化剤
爆発または毒性のガスを生成するおそれ:
硝酸、亜硝酸

避けるべき条件：
高熱
引火点マイナス15Kを臨界値とみなす。
空気、光

１１．有害性情報

急性毒性：
LD50(oral/rat) :　680mg/Kg　(IUCLID)

皮膚に付着、目に入った場合：
皮膚から吸収される。

吸入した場合：
咳、息切れをおこす。

吸収された場合：
頭痛を伴ったメトヘモグロビン血症、心臓不整脈、低血圧、呼吸停止、痙攣を引きおこす。
チアノーゼをおこす。
大量の場合、下痢をおこす。

飲み込んだ場合：
吸収される。

遺伝毒性等：
発がん性のおそれがある。

その他の有害性：
肝臓、腎臓に障害をおこす。

１２．環境影響情報

生態毒性：
LC50　7 mg/l (48h) (IUCLID)
メダカ
EC50　86.5 mg/l (60h) (IUCLID)
魚類（テトラヒメナ）

残留性・分解性：
難分解性である。

ThOD	2570 mg/g
Ratio BOD/ThBOD	BOD5：57%
Ratio COD/ThBOD	92%

生体蓄積性：
蓄積性は見られない。

その他：
魚(タンパク)の風味が変化するおそれがある。
飲料水への混入は危険。

１３．廃棄上の注意

残余廃棄物：
関連法規及び市区町村条例等に従い、産業廃棄物として廃棄すること。

容器包装：
空容器には残余物がないようにし、関連法規及び市区町村条例等に従って適切に廃棄すること。

作成日　1997年12月22日
改訂日　2014年01月30日

１４．輸送上の注意

国連番号 ： 2077
品名 ： ALPHA-NAPHTHYLAMINE
クラス ： 6.1/III

安全対策：
運送に際して漏れのないことを確かめ、直射日光を避け、転倒、落下、損傷がないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

１５．適用法令

1-ナフチルアミン
労働安全衛生法第57条の2：通知対象物質
労働安全衛生法第57条：表示対象物質
労働安全衛生法特化則：第1類物質

１６．その他の情報

記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データにもとづいて作成しておりますが、含有量、物質化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではありません。また、注意事項は通常の取扱いを対象にしたものなので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい